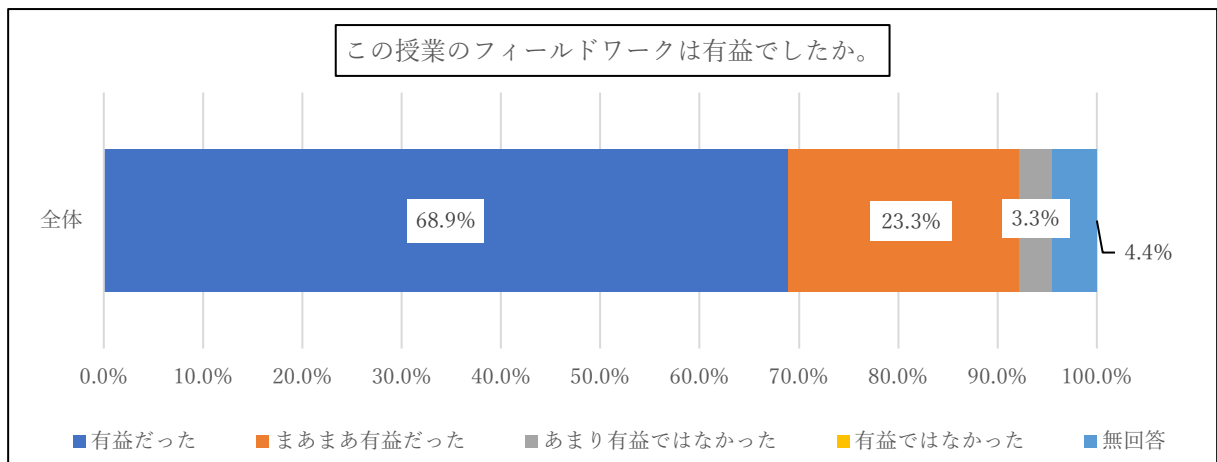
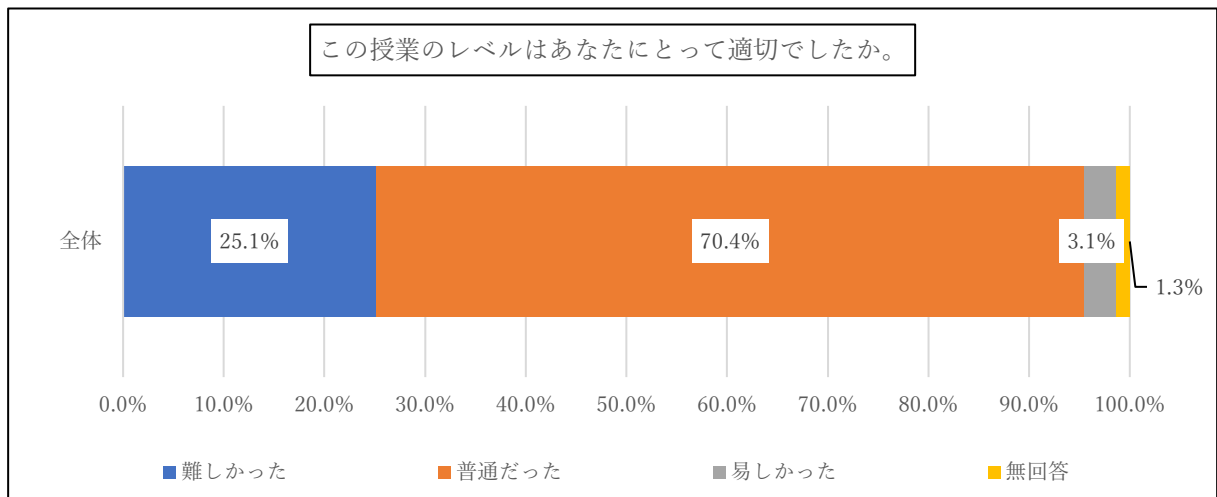
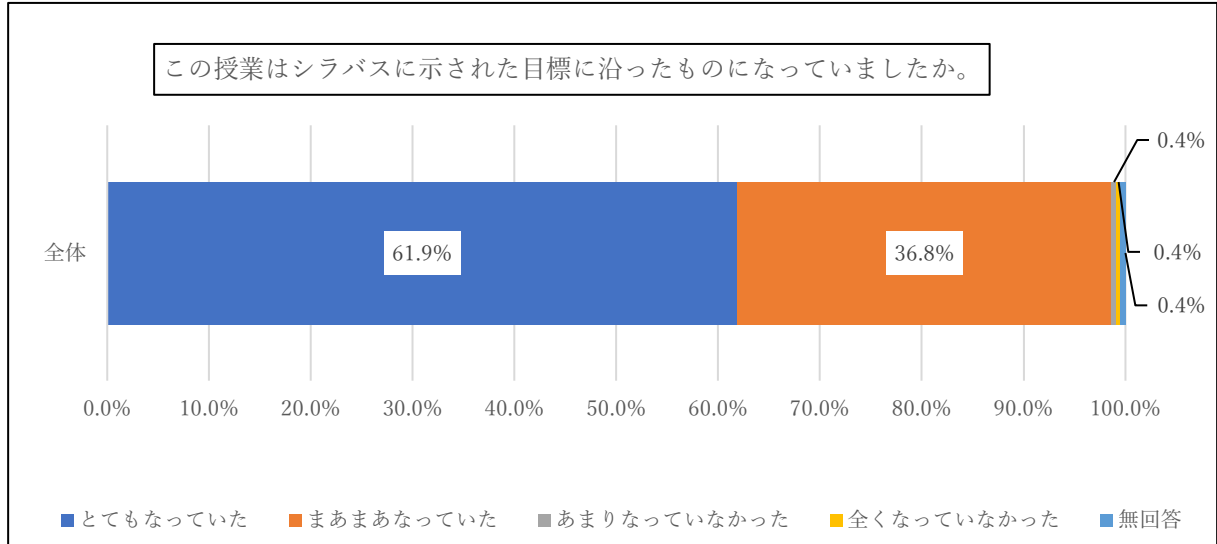
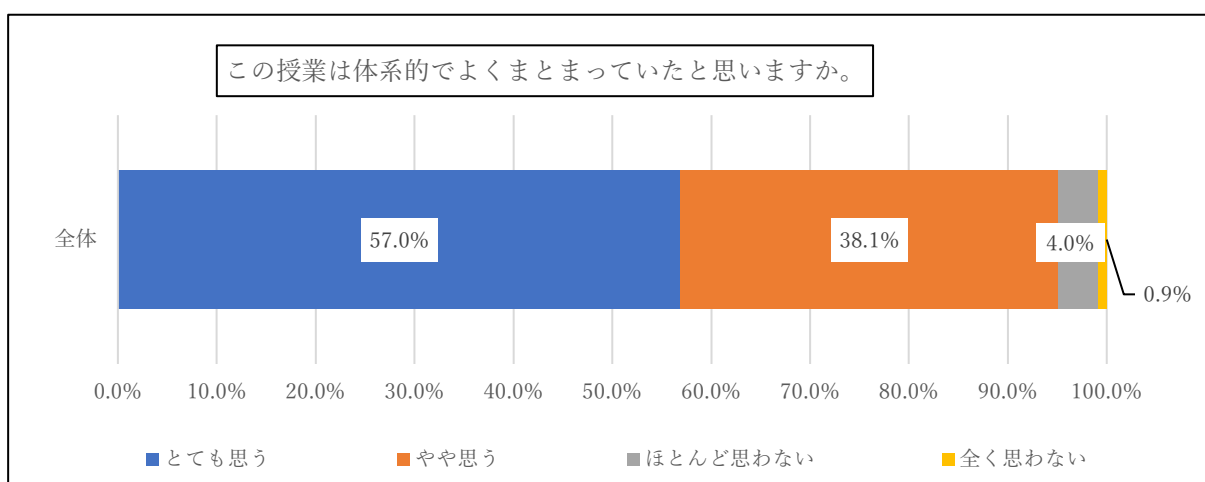
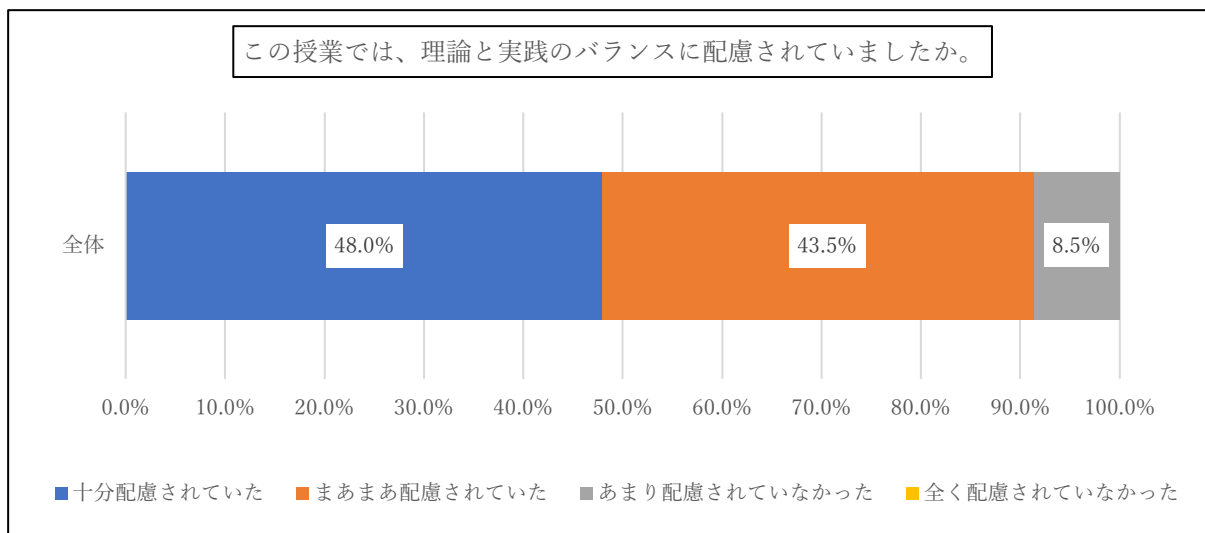


2022 年度秋学期「授業アンケート」

授業アンケートの結果

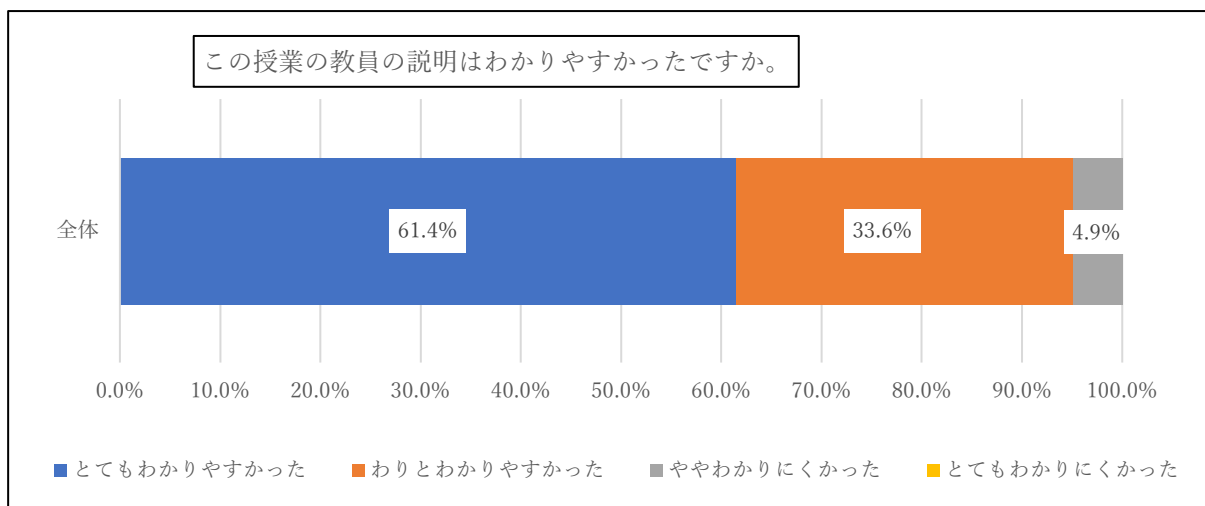
(1) 授業内容について

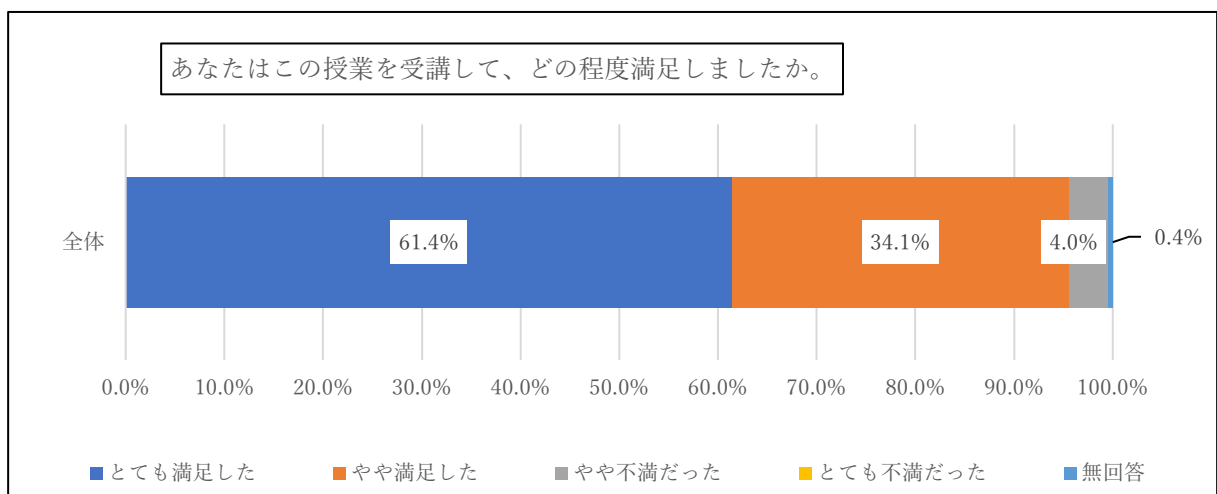
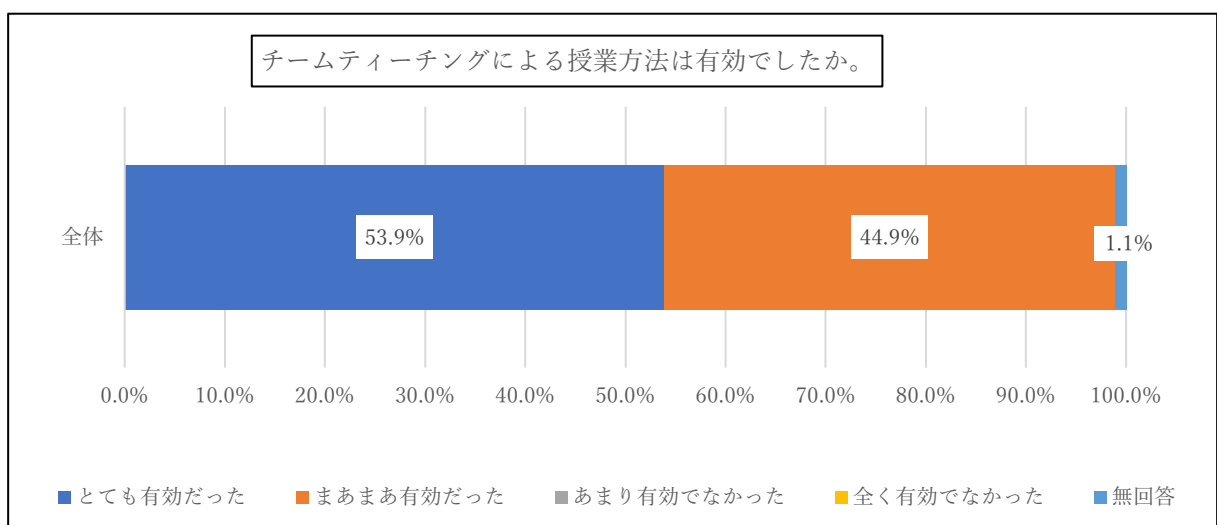
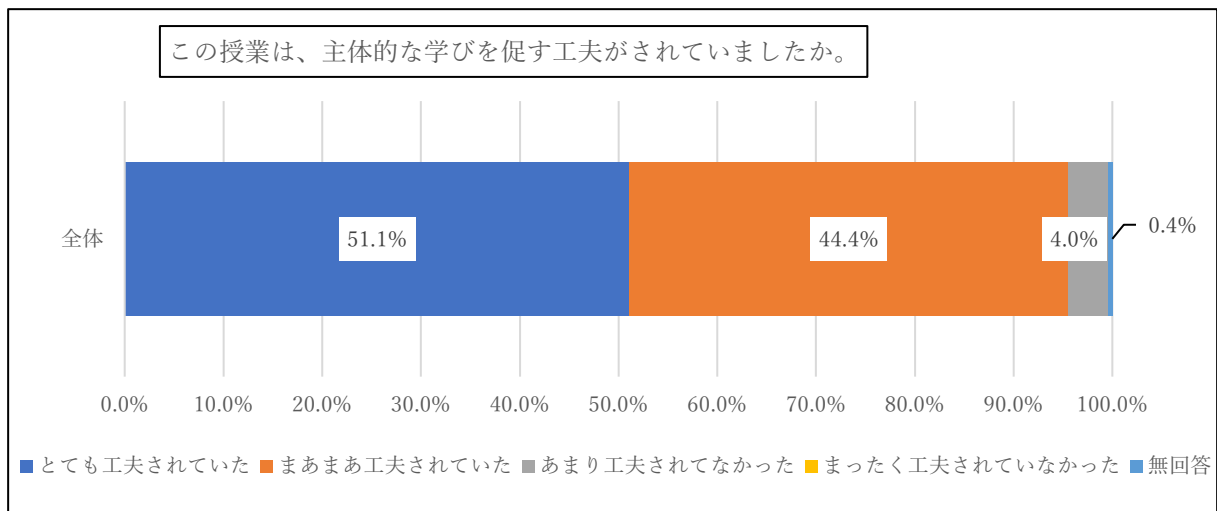




「授業内容について」は、肯定的な回答が9割以上となり、全体として良好な状態が維持されているとともに、特にシラバスに示された目標に沿っていたか、レベルが適切であったかを問う項目において否定的な回答の割合のさらなる縮減が見られ、前年度からの改善が認められる。受講生のニーズを見極めながら、引き続き多様な期待に応えられる授業の展開に努めたい。

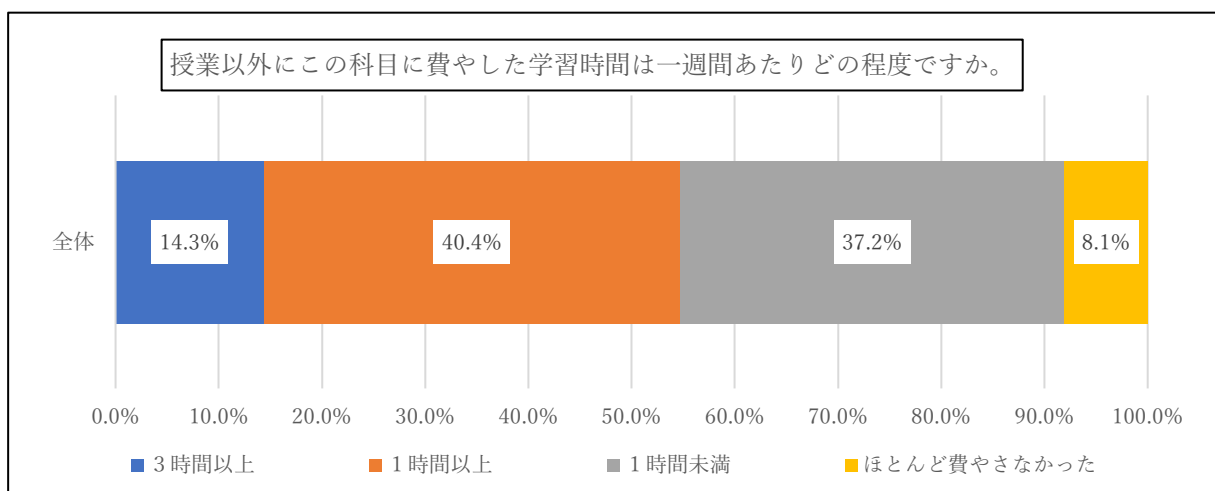
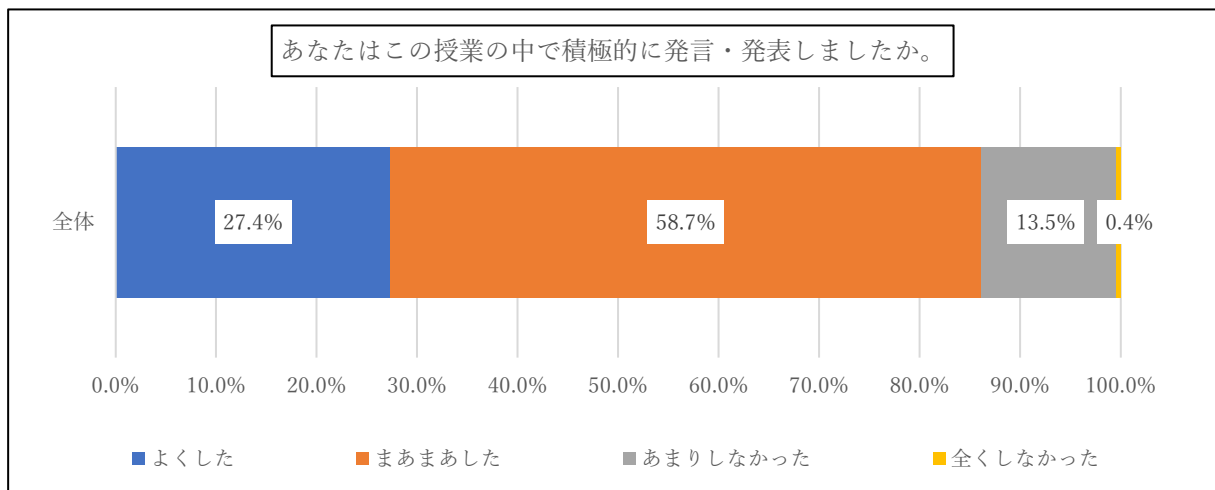
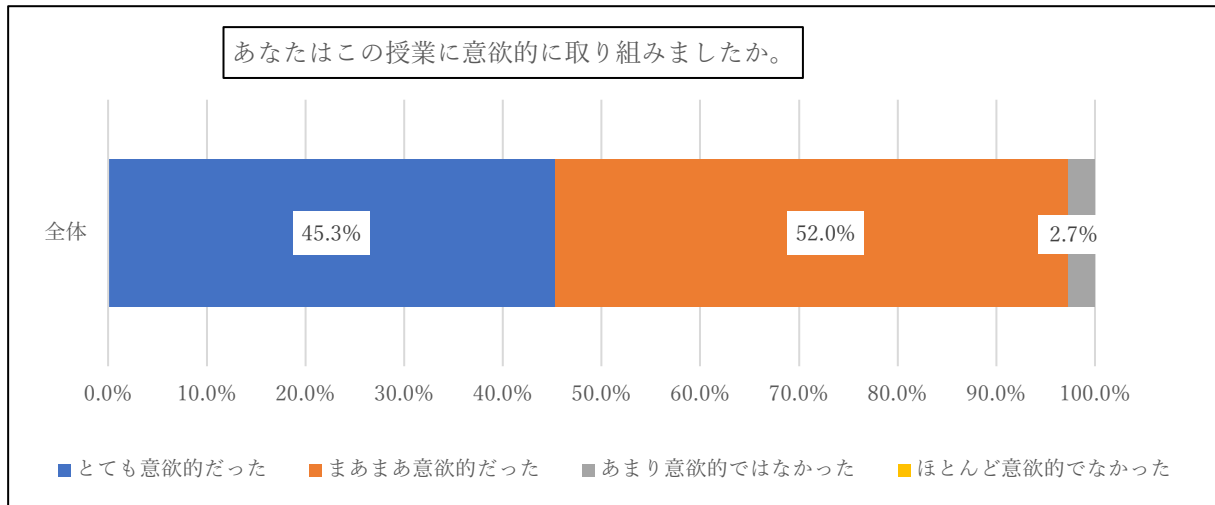
(2) 授業の進め方について

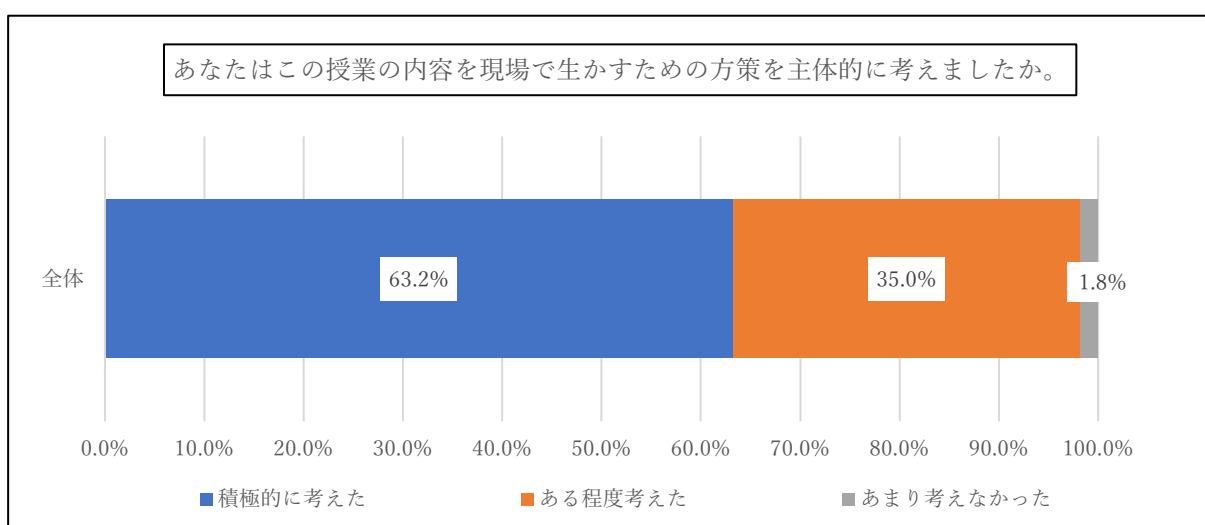
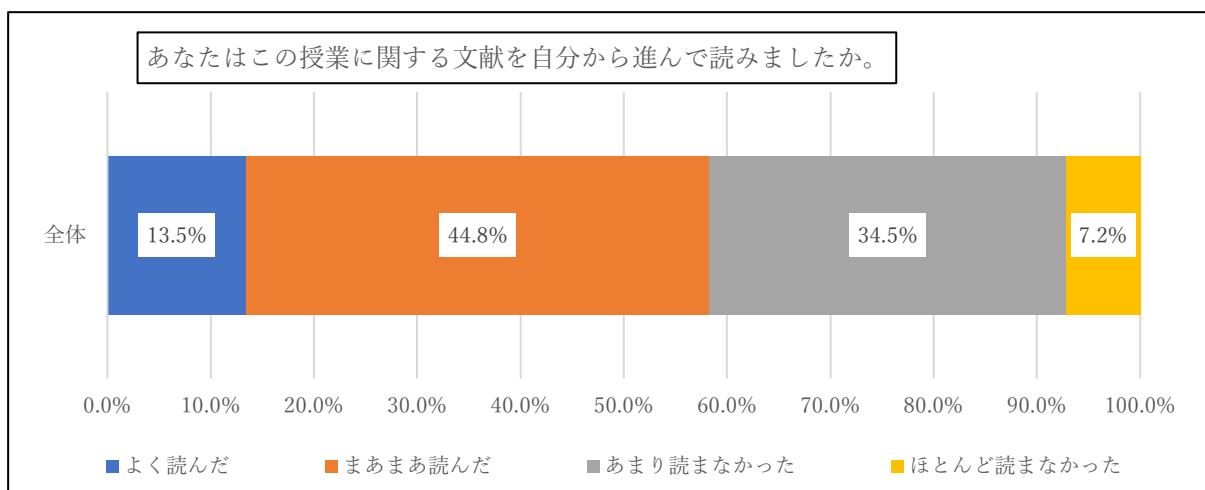




「授業の進め方について」も、肯定的な回答の割合が9割程度の水準で維持されている。特にチームティーチングの有効性に関する設問では、否定的回答が0件となり、各授業において研究者教員と実務家教員の有機的な連携が図られたものと推察される。主体的な学びを促す工夫や授業の満足度についてはさらなる改善が見られた。否定的な回答は1割弱からさらに縮減が図られているが、さらなる充実に向けて授業展開の改善・工夫に取り組む必要がある。

(3) 受講生の取組について





「受講生の取組について」は、意欲的な取り組みの意識や積極的な発言・発表に関する設問において、否定的回答の割合が前年度よりも縮減している一方、授業以外での学習時間及び授業に関連する文献を読むことについては改善の余地が大きく、個人差が大きい状況にあると言える。今後、新カリキュラムの実施段階で、主体的な学びを育むさらなる工夫と環境整備に取り組むことにより、。